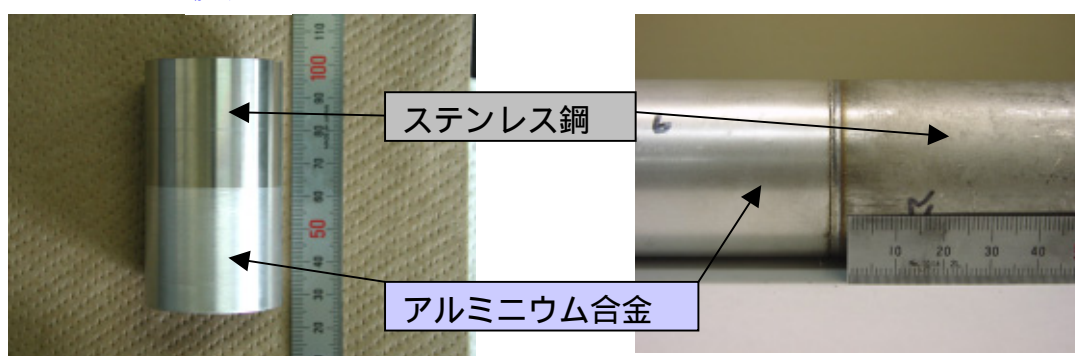
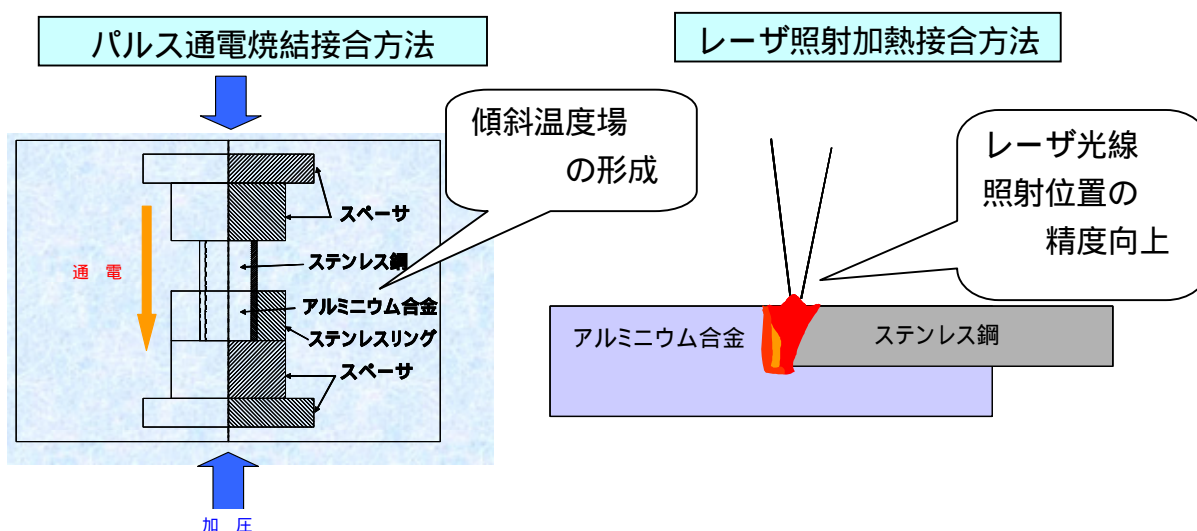


鉄とアルミの接合を可能に

ステンレス鋼とアルミニウム合金との接合は溶接が困難なため、一般には行われていません。

そこで、パルス通電焼結技術、レーザー加工技術を接合に応用した新しい接合方法を研究開発しています。



半導体製造装置の真空容器等の気密性が必要な精密配管継手に適用できる

農業用運搬機械等の一般的な管継手に適用できる

現在までの研究により、接合部の引張強度が約 80MPa の継手が開発できました。今後、適用範囲を拡大するため、強度を高める研究に取り組みます。

異種金属精密接合・表面改質技術開発研究

レーザー利用による SUS/Al 材の接合可能性試験

担当者：愛媛県工業技術センター 機械電子室長 宇都本 康夫
主任研究員 友近 宏